

日本共産党長岡京市会議員

議員団控室

tel.955-9551 fax.955-9741

自宅 tel.&fax.955-7662

## 野坂 京子

久々にぎっくり腰を起こしました。疲れがたまると引き起こすことが多いです。オリンピックでますます寝不足になり要注意！厳しい暑さ、皆さまご自愛くださいませ。

# 大飯原発再稼働の撤回求めて 意見書案を提案



去る6月議会閉会日直前の6月16日、野田首相が、大飯原発3・4号機の再稼働を容認し、6月30日に運転が再開されました。事故の原因究明も収束も、放射能の拡散を止めることもできないのが原発です。さらに大飯原発は、免震事務棟も、防潮堤も、爆発を防ぐ設備もなく、真下には断層が走っています。万が一事故が起きれば、長岡京市の市民も被曝するであろう、大飯原発再稼働の判断を撤回し、原発ゼロへ責任ある政治を求めて、党議員団の発議で意見書を提案しました。結果は残念ながら、賛成少数で否決となりました。

## 共産党の賛成討論

原発に関する住民説明会で電力会社社員に推進の発言をさせてきた。福島での事故直後、アメリカ政府が放射能拡散予測図を日本政府に送っていたのに公表しなかった。使用済み核燃料の最終処分方法も決まらない。そういう中での再稼働判断の責任を、野田首相は「私の責任」とは言うが、「政府の責任」とは言わない。事故が起きた際に政府がどんな対応をするか不明のままである。

## 意見書案に対する賛否

賛成：大畑京子、小谷宗太郎、武山彩子、

野坂京子、浜野利夫、藤本秀延

反対：岩城一夫、上村真造、黒田基、

田村義明、坪内正人、富岡浩史、

藤井俊一、八木浩

大伴雅章、進藤裕之、高見良一、

堤淳太、祐野恵、綿谷正巳、

大谷厚子、西村厚子、福島和人

議長：上田正雄

敬称略、

欠席：瀬川光子、尾崎百合子

五十音順

## 原発事故から市民を守る対策は？

市が今年度、見直し作業をしている市地域防災計画の中に、大飯をはじめとした福井県の原発が事故を起こしたと想定した、原子力災害への対策も盛り込まれます。

議員団の質問に対して、①府北部の住民の受け入れ ②市に影響がある場合の市民への情報伝達、屋内退避場所の確保 ③被曝を防ぐ一つとして服用が有効な安定ヨウ素剤の入手方法など、を検討すると答弁がありました。府は、長岡京市を「防災対策を重点的に充実すべき地域」と位置づけています。以上のことをみても、国民の安全を後回しにする再稼働はやってはならない、と実感します。

## 学校・保育所給食の 放射線測定に向けて

長岡京市は、京都市を除く府内市町村に先駆けて、学校・公立保育所の給食用食材の放射線測定を実施するために、独自で測定器を購入します。議会で繰り返し、子どもたちの食の安全を確かなものに、と質問してきました。3月議会では、可能な食材は給食を提供する前に測定を、と求めていました。6月議会で、魚・肉から1品目、野菜1品目の調理前測定を予定している、と答弁がありました。その他、測定結果の判断、保護者への説明などについても質問しました。



# 子どもの成長と安全を

## 児童約1000人の長五小 子どもに十分な教育環境を！

現在、長五小の児童数は955人32クラス(今年5月1日現在)となり、平成26年度にはピークをむかえ教室やトイレなどが不足し、まったなしの状況です。

党議員団は学校を視察をし、「緊急対策として必要な手立て」「小学校設置基準」「教育の機会均等」「まちづくりと学校校区編成の関係」について一般質問で取り上げました。

普通教室に切り替えているため特別教室が不足し、体育館やプールを使う授業のカリキュラムが組みにくくなっています。また、トイレ不足と、教職員数も増え講師用の机が置けないほど過密な職員室、廊下まで使用せざるをえない給食室など大変な状況です。

このような実態があっても、大規模改修・増築は耐震工事を行う3年後まで辛抱してもらうという姿勢が明らかになり、議会閉会后、緊急要望書を提出しました。



議員団で長五小を視察。5月23日



複合化構想案イメージ図

## 神足小・開田保育所、複合化施設構想案

議会公共施設対策特別委員会で、市は、神足小学校耐震工事とあわせて、同じ校舎内に老朽化で建て替えや移転が検討されてきた開田保育所と、学童保育を併設する複合化基本構想を発表しました。

南校舎1階に留守家庭児童会を、1、2階に開田保育所を移転させ、プールを3階に設置する案です。

小学校を複合施設にすることはめずらしくありませんが、特に学校敷地内に福祉施設が併設する際には、つくる側の市と教育委員会は、使用目的や管理方法が違うことをよく認識する必要があります。

防犯・危機管理の面で、小学校と保育所の入り口を明確に分けることが必要です。しかし、今回の構想ではそれらが同じであること、2階への階段が小学校と保育所が兼用になっていること、廊下が小学校と保育所がつながっていること、保育所保護者以外の何者かが侵入した場合でも点検できないことなど問題点があり、見直しを指摘しました。指摘に対し、市は、再検討を約束しました。

## 子どもを事故から守ろう！通学路・歩行者の安全対策

今年4月亀岡市で登校中の児童と親が犠牲になった自動車事故。長岡京市でこのような悲惨な事故が起こらないよう、市・府・府警が緊急に通学路などを点検した上で、195ヶ所の改善が必要な場所の特定と、29ヶ所の緊急を要する改善の検討を始める案が議会に公表されました。党議員団も、それぞれの地域であげられている場所の点検をし、市や向日町警察署に申し入れを行っています。

# 最優先にする教育を！



## 学童保育民間委託は 子どもに必要なか？

昼間働く親にかわり、子どもたちの安心できる生活の場と遊びの保障をしている学童保育。今、学校の授業が1年生でも毎日5時間、4年生になると水曜日以外はすべて6時間という中で、これまで以上に、学校が子どもに対して行っている学習・生活面の指導や家庭への支援と連携することが必要です。

しかし、市がすすめようとしている民間委託では、現在のように学童指導員が学校と日常的な連携をとることは、「偽装請負」と同様の法令違反になります。

「法違反を防ぐための手立てをとる」と市教育委員会は言いますが、そのようなことをしてまで、子どもの教育の場にコストカットを持ち込む必要がなぜあるのか、子どもに必要なものを最優先する教育的視点が欠けています。

野添地域や一文橋地域の住宅地域の雨水被害対策として、大雨の時に野添公園内に風呂川の排水を一時的貯留する施設の工事が、始まった矢先の6月に中止になりました。

今回の工事のために平成21年12月に調査したボーリングデータでは、地下水位は地上から3.8メートルで貯留施設の埋設には問題がないとしていました。しかし、実際に掘削すると、1.8メートルの地下水位だったため、さらに2か所を掘削した結果、1.8～1.9メートルの地下水位であること、周辺地盤の沈下状況があることがわかりました。

周辺地域や阪急電車軌道に安全上、影響があるため、工事を中止すると、議会建設水道常任委員会で報告がありました。常任委員会の審議で、今回の原因は、設計当時の地質データの取り違いがあったことが明らかになりました。

党議員団は、もし地下水位の上昇が、工事掘削によるものだとすれば、周辺住宅の地盤が軟弱になっている心配もあることから、徹底した調査と対策を講じるよう求めました。あわせて、工事の事前調査の問題であれば、必要な損害賠償を求めよう指摘しました。

また、議会閉会后、関係する地域で「工事中止の説明会」が開かれました。第三者機関の調査を委託したとのことで、十分な説明会にならず、参加住民から疑問や不安が出されました。その結果、再度、説明会を開くことになりました。

### 野添公園、貯留施設工事中止 調査と対策の徹底を

### 問われる 議員の人権意識

6月議会での民主フォーラムの一般質問。長引く不況のもとでの深刻な市民生活の実態をどのように把握しているのかわかりませんが、「働く意欲のないものを税金で養っている」として、生活保護の打ち切りや削減を求めるような質問でした。市長は、生活保護は「大切な最後のセーフティネットだ」と答弁しました。憲法第25条が国や行政に求める国民への生活の権利の保障として、市長の答弁があるべき姿です。

また、「図書館を民間委託せよ」と求める質問もありました。小泉内閣の頃から、官から民へと自治体の役割を投げ捨てる流れが強まり、長岡京市でも民間委託や指定管理が増えています。が、「公」の役割の議論を抜きに、「専門業務の部門も民間に委ねよ」と行政に求める姿勢には疑問を抱きます。

# 議会基本条例 市民説明会が行われました

長岡京市議会は、議会の目指すべき方向性や理念を定めた「長岡京市議会基本条例」を制定し、条例の理念を具体化していくために、改革項目を検討しているところです。

去る7月1日、議会改革に市民の声を反映できるように、条例についての市民住民説明会を、市議会主催で開催しました。

多くの方が参加され、「見える議会づくり」へ積極的なご意見を出されました。ご意見は今後の検討項目に活かせるよう、努力します。



7月1日「議会基本条例」制定の説明会

## 共産党が提案している議会改革

- ①議会だよりの議員名記名と会派別議案賛否の記載
- ②本会議と委員会のインターネット動画配信
- ③請願・陳情での押印省略
- ④本会議場のバリアフリー化と委員会室での視聴
- ⑤請願・陳情の委員会での趣旨説明

## 介護保険



市内の介護施設との懇談

## あなたのご意見をお寄せください。

今年度、国が改訂した介護保険制度で、さらに保険料が上がり、在宅ホームヘルパーによる家事援助のサービス時間が短縮されています。

こうした、負担増やサービスのカットは、安心して老後を送れる社会を高齢者から遠ざけてしまうものです。

党議員団は、市民のみなさまの介護に関する声を集め、実態を把握し改善を求めていきたいと考えています。ぜひ、介護に関するご意見をお寄せください。

よろしければおきかせください。

お名前

ご住所

お電話

党議員団（直通）電話955-9551 FAX955-9741

e-mail jcpnagaokakyo@gmail.com

日本共産党長岡京市会議員団

**救援募金** **引き続きご協力ください。** ※通信欄に「地震募金」「台風募金」など、募金の主旨をご記入ください。手数料はご負担をお願いします。

（下記のいずれかの口座にお振込みください。）

- 郵便振替 □座番号：00170-7-98422 □座名義：日本共産党中央委員会
- 座番号：019090-6-0084306 □座名義：日本共産党京都府委員会